

(様式)

パブリックコメント実施結果報告書

令和3年3月10日

担当課	畜産課
担当者	郡司
連絡先	0857-26-7290

パブリックコメントのテーマ： 鳥取県和牛振興計画（案）について

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
0 ()	1 (1)	9 (2)	1 ()	0 ()	9 (9)	()	20 (12)

2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	3	<ul style="list-style-type: none">・ 遺伝資源情報システムについて、2020年から実施していくと予算化してあったと思いますが、2021年に整備予定となっている（遅れている）。和牛界はアナログ式が多く、手間がかかっていますので早急にシステム構築をしていただきたい。・ 白鵬85の3、百合白清2などの県有種雄牛が母体となる牛がたくさん県内に残り、そしてその牛に種付けできるスーパー種雄牛ができることが生産者の望むところだと思う。・ どこに行けば鳥取和牛が食べられるのか、買えるのかというのがよくわからない。そこがもっと一般消費者に分かるようにしてもらいたい。
既に盛り込み済み	8	<ul style="list-style-type: none">・ 県有種雄牛の適正管理、効率的な精液生産、県有種雄牛精液の県外・国外への流出防止（遺伝資源管理）・ 牛舎や共同利用施設の整備、広大な敷地での放牧（生産）・ 新規就農者や担い手などの人材の確保や肥育農家での体験学習等を通じて人材育成を行っていく（生産）・ 関係者が連携して全国和牛能力共進会での上位入賞獲得を目指していく（生産）・ 鳥取和牛の地産地消を推進し、県民の身近なスーパーで購入ができるようにする、学校給食を通じた食育等、鳥取和牛の認知度を向上する（加工流通販売）・ 鳥取和牛が他産地のブランド牛を超える価格で取り引きされるよう、特徴の明確化による他産地との差別化を図る（加工流通販売）・ 首都圏で知名度が低いので、東京に鳥取和牛の販売店や直売所を作るか使ってもらおう。・ 子牛価格全国1位をキープできると生産者はさらに元気が出ると思う。
今後の検討課題	4	<ul style="list-style-type: none">・ 鳥取和牛は他県産よりレベルが高いと感じている。鳥取和牛を全国ブランドにするためには、店頭で販売されるパックのラベルに、肉牛名・父牛名・母牛名・生産者名を表示すべき。消費者は安心感と期待感をもって自ら血統や生産者を

		<p>選択して購入できるので、ブランド牛としての強い保証になる。手始めにオレイン55から表示していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性を上げるため増頭しているが、発生する糞の処理が問題となっている。耕種農家と連携するなど、堆肥を処理するための場所を作っていただきたい。 ・糞尿処理は問題化しつつある。秋田県の発酵床牛舎等、水分の多い繁殖雌牛の糞尿を簡単に処理できるような研究をしてほしい。 ・おがくずの確保が今一番大変なので、それ（敷料）に関する研究をしてほしい。
対応できない	1	<ul style="list-style-type: none"> ・牛の診療やワクチン接種等で生産体制、増頭体制を支える産業動物臨床獣医師の確保にも力を入れて取り組んでいただきたい。
その他上記に分類できないもの	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「和牛のソムリエ」とも呼べるほどの達人を見つけて、鳥取和牛の血統ごとの味わいの個性の差を表現してもらい、消費者の購入の参考にできるサイトを作ってアピールしてほしい。 ・格安で血統ごとの鳥取和牛の食べ比べイベントを行って、味の良さや違いを知ってもらうことが重要と思う。利き酒ならぬきき牛コンテストを行って鳥取和牛師認定をするのも面白いと思う。 ・和牛は高すぎて食べられないので県民が食べられるようにしてほしい。 ・生産者としてはもっと具体的な取組がわかればありがたい。
計	20	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットで の公表（担当 課による）	報道機関への提 供	県議会への報告	広報紙等への掲 載	関係団体等への 報告	その他
		○		○	